

巧みな弁舌、異色の経歴

人心つかみ一気に頂点



8月28日、米コロラド州デンバーでの民主党大会で観衆に手を振るオバマ氏（右）とバイデン氏（UPI＝共同）

人種の壁、知名度のなさ、中央政界での経験不足。さまざまなハンディを背負いながら強力な政敵を次々に破り、一気に超大国米国の頂点へと上り詰めた。巧みな弁舌で国民の心をわしづかみに

する希代のコミュニケーション能力が、その原動力となった。

ケニア人で黒人の父、カンザス州出身の白人の母との間にハワイ州で生まれた。インドネシアでの生活経験が異色なら、

上院議員となつてわずか二年で大統領選出馬を表明したのも異例。「初の黒人大統領」という呼称だけでは語り尽くせない型破りの大統領の誕生だ。

昨年二月に立候補を表

明した当時は「資金も支持もあまりなかった」と振り返る。しかし「変革」「結束」「希望」の三つをキーワードに、新しい米国のかたちを情熱的に訴える姿に、国民は新時代の指導者像を重ね合わせていった。

「最前線の兵士には共和党支持者も民主党支持者もいる。でも彼らはともに戦い、時には星条旗の下で命を落とす」。人種、貧富、主義主張の垣根を越えて団結し、米国本来の強さを取り戻そうというメッセージは単純だが、真摯で力強い。

ヒラリー・クリントン上院議員との歴史的激戦となった指名争いは、政治家としての能力を鍛える場となった。その過程で自らも「変革は可能だ」と確信を深め、演説に一

層磨きをかけた。

妻のミシェルさんとの間にマリアちゃん(10)とサーシャちゃん(7)の二人の娘。「心のよりどころ」と慕ってきた祖母のマデリン・ダンハムさんは二日に亡くなり、勝利を報告できなかった。四十七歳。

04年党大会の演説で脚光

プロフィール

バラク・オバマ氏 61

年8月4日、米ハワイ州ホノルル生まれ。47歳。

父親はケニア人、母親は米国人。コロンビア大卒、ハーバード大法科大学院修了。学内の権威ある専門誌「ハーバード・ロー

・レビュー」の編集長を黒人として初めて務めた。大学院講師、弁護士を経て、97年から04年までイリノイ州議会上院議員。04年の民主党大会の基調演説で脚光を浴び、同年イリノイ州から上院選に出馬し当選。ミシェル夫人との間に2女。

オバマ次期大統領のプロフィール

■1961年8月4日
ハワイ州ホノルル生まれ(47歳)

■身長 186cm

■配偶者
ミシェル夫人
(弁護士事務所の同僚)

■好きな食べ物
パン、キンパイ、ピザ

■好きなアーティスト
・マイルス・デービス
・スティービー・ワンダー

■尊敬する人物
・マーティン・ルーサー・キング牧師(米黒人指導者)
・マハトマ・ガンジー(インド独立の父)

■趣味
バスケットボール



次期副大統領 バイデン